

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【公開番号】特開 2001-120533 (P2001-120533A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 8 日 (2001.5.8)
 【出願番号】特願 平 11-306427
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 0 K
 A 6 1 B 6/03 3 3 1
 A 6 1 B 6/03 3 5 0 R
 A 6 1 B 6/03 3 6 0 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 9 月 4 日 (2006.9.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被検体に X 線を照射する X 線源と、
前記被検体を挟んで前記 X 線源と対向配置され、X 線源のビームの幅方向に検出素子が複数チャンネル配置され、前記被検体の透過 X 線を投影データとして検出する X 線検出器と、

前記 X 線検出器と X 線源を連続回転させるスキャナと、
前記スキャナにより X 線検出器と X 線源を連続回転させながら該 X 線源から X 線を照射し、複数方向の投影データを取り込み、該取り込まれた投影データに基づいて画像を再構成する再構成手段と、

該再構成された画像を表示する表示手段と、を備えた X 線 CT 装置において、
前記被検体の関心領域を設定する関心領域設定手段と、
前記設定された関心領域のみに X 線照射されるように前記スキャナの連続回転中に前記 X 線源のビームの幅方向に前記 X 線照射範囲を制限する制限手段と、
前記制限手段によって制限された X 線照射範囲により前記 X 線検出器のチャンネル配置方向の一片側の検出素子で得られるはずの投影データを、同じ X 線透過パスを通る前記 X 線検出器のチャンネル配置方向の他片側の検出素子で得られた投影データに置換する投影データ置換手段と、を備え、

前記再構成手段は、前記置換された投影データと前記取り込まれた投影データに基づいて画像を再構成することを特徴とする X 線 CT 装置。

【請求項 2】

前記関心領域設定手段によって設定される関心領域は円形であり、
前記制限手段は、前記円形の関心領域の半径に合わせて前記 X 線照射範囲を制限することを特徴とする請求項 1 に記載の X 線 CT 装置。

【請求項 3】

前記表示手段は、前記被検体全体の画像に前記関心領域の画像を重ねて表示する、又は前記被検体全体の画像の隣に前記関心領域の拡大画像を表示することを特徴とする請求項 1 又は 2 の何れかに記載の X 線 CT 装置。